

2022 年 12 月 5 日

内閣官房 内閣サイバーセキュリティセンター
重要インフラグループ**グーグル製「Chrome」のセキュリティ更新プログラムについて（注意喚起）**

1. 対象ソフトウェア

- ・ Google Chrome for Windows (108.0.5359.95 より前のバージョン)
- ・ Google Chrome for Mac (108.0.5359.94 より前のバージョン)
- ・ Google Chrome for Linux (108.0.5359.94 より前のバージョン)

2. 脆弱性悪用による影響等

任意のコードを実行（プログラムの実行、異常終了、当該コンピュータに保存されているデータの改ざん・削除・漏洩等）される恐れがある脆弱性が含まれます。

3. 深刻度

ソフトウェアの開発元が深刻度「High」（4段階中、上から2番目）に分類する脆弱性が含まれます。

4. 悪用

開発元により本脆弱性の悪用が確認されています。

5. 対応

対象ソフトウェアを最新のバージョンに更新してください（詳細は参考 URL 参照）。

6. その他

本件脆弱性については、マイクロソフト社製「Edge (Chromium ベース)」でも対応が必要であり、同社はこれを修正するセキュリティ更新プログラムの公開を予告しています（2022 年 12 月 5 日 13:30 (日本時間) 時点では未公開）。セキュリティ更新プログラムが公開され次第、適用してください。

参考 URL

- ・ Stable Channel Update for Desktop (グーグル)
<https://chromereleases.googleblog.com/2022/12/stable-channel-update-for-desktop.html>
- ・ Google Chrome を更新する (グーグル)
<https://support.google.com/chrome/answer/95414>
- ・ Severity Guidelines for Security Issues (Chromium Project)
<https://www.chromium.org/developers/severity-guidelines>
- ・ Release notes for Microsoft Edge Security Updates (マイクロソフト)
<https://learn.microsoft.com/en-us/deployedge/microsoft-edge-relnotes-security#december-2-2022>